

— 神田外語大学言語科学研究科 公開講座 —

2022年9月10日（土） 15：00～16：30

『日本語の歴史・方言・学習者の日本語』
講師：木川 行央（言語科学研究科日本語学専攻）



□対象 言語研究、言語教育に関心をお持ちの方

□参加費 無料

□使用言語 日本語

□場所 ZOOMによるオンライン開催

□お申込み
下記URL、またはQRコードからお申し込みください。
<https://forms.gle/IKfSRSNk79LIQj7V9>



□お申込み期限：9月6日（火）

- ・入試説明会にお申込み済みの方は申し込みは不要です。
- ・お申込み期限後に、ご登録のメールアドレスへご参加用のURL等詳細をお送りします。

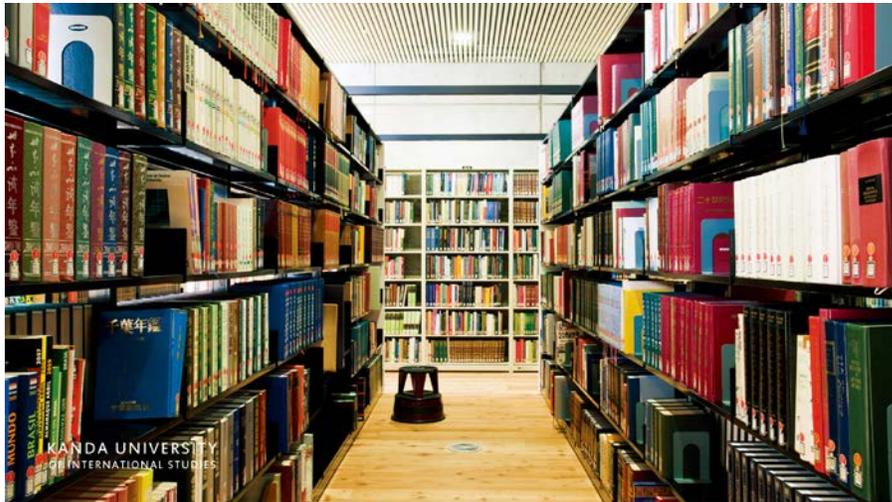
※同日13:30～14:30 本学大学院説明会を開催いたします。
詳しくは以下をご覧ください

- ☑神田外語大学大学院 入試説明会
<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/opencampus/extension/>
- ☑神田外語大学大学院ホームページ
<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/faculties/graduate/>

神田外語大学言語科学研究科 公開講座

『日本語の歴史・方言・学習者の日本語』

言語科学研究科日本語学専攻
教授 木川 行央



日本語のバリエーションにはいろいろありますが、その中で代表的なものが時間的な変種すなわち過去の日本語と空間的な変種である方言でしょう。

方言の中に過去の日本語が残っていることは方言圏論をはじめとして有名なところかと思います。しかし、方言の中には未来の日本語の種も見られます。では、新しい日本語の変種とも言える学習者の日本語はどうでしょう。

おそらく直接的には過去の日本語の影響を受けてはいないでしょうが、いわゆる誤用の中には、方言に似た現象が見られることもあります。また未来の日本語に通じる部分もあるように思われます。このような観点からこの3種のバリエーションを見ていきたいと思います。